

2012年1月5日

米国研究製薬工業協会

< ニュースリリース >

PhRMA 在日執行委員会委員長交代を発表 ～ 新委員長にズルエッタ氏(日本イーライリリー株式会社代表取締役社長)が就任 ～

米国研究製薬工業協会(PhRMA: Pharmaceutical Research and Manufacturers of America)は、在日執行委員会の委員長に日本イーライリリー株式会社代表取締役社長のアルフォンゾ・G・ズルエッタ氏(Alfonso G. Zulueta)が1月1日付で就任したことを発表しました。これは前委員長梅田一郎氏の任期満了に伴うものです。また、同日付でプリストル・マイヤーズ株式会社代表取締役社長兼CEOのエマニュエル・ブリン氏(Emmanuel Blin)と、アボット ジャパン株式会社代表取締役社長のゲリー・M・ワイナー氏(Gary M. Winer)が副委員長に就任しました。

ズルエッタ新委員長は「日本の患者さんや国民の健康に貢献することが私たちの日製薬企業のミッションです。そのためには、最新で最も革新的な医薬品を提供できる環境が必要となります。今後も日本の患者さんおよび国民の健康増進を第一に考え、イノベーションの迅速で継続的な提供のための積極的な議論を関係者の方々と行っていきたいと考えています。また、製薬産業が日本経済の発展によりよく貢献できるよう、加盟企業一同、最善を尽くしてまいります」と就任のコメントを述べています。

ズルエッタ氏は1988年にイーライリリー・アンド・カンパニーに入社、米国オペレーションズのセールス&マーケティング担当バイスプレジデント、グローバル・プロダクトグループ オンコロジー・クリティカルケア担当プレジデント および アジア担当プレジデント(日本以外のアジア地域)を務めた後、2008年7月に日本イーライリリー株式会社代表取締役社長に就任しました。

ブリン氏は1997年にプリストル・マイヤーズ スクイブ社に入社、ヨーロッパ各国で要職を歴任したあと、2010年6月にプリストル・マイヤーズ株式会社 代表取締役社長兼CEOに就任しました。

ワイナー氏は2003年にアボット社に入社、コマーシャルオペレーション部門のディビジョナル・バイスプレジデントなどの要職を務めた後、2009年11月にアボット ジャパン株式会社 代表取締役社長に就任しました。

● PhRMA Japan

PhRMA Japanは、米国の研究開発志向型製薬企業の日本法人で構成されており、画期的新薬が開発できる環境や患者さん中心の医療制度の確立に向けて25年以上に渡って活動を続けています。加盟企業は、Amgen Inc.、アボット・ジャパン株式会社、MSD株式会社、日本イーライリリー株式会社、バイオジェン・アイデック・ジャパン株式会社、ファイザー株式会社、プリストル・マイヤーズ株式会社、ムンディファーマ株式会社、ヤンセンファーマ株式会社(五十音順)の9社です。

- 米国研究製薬工業協会 (PhRMA)

PhRMA は、米国で事業を行なっている、主要な研究開発志向型製薬企業とバイオテクノロジー企業を代表する団体です。加盟企業は新薬の発見・開発を通じて、患者さんがより長く、より健全で活動的に暮らせるよう、先頭に立って新しい治療法を探求しています。加盟企業の新薬研究開発に対する 2010 年の投資額は約 494 億ドルで、製薬業界全体の投資額は過去最高の 674 億ドルに達しました。

- PhRMA ホームページ: <http://www.phrma-jp.org>
- 米国 PhRMA ホームページ: <http://www.phrma.org>

【本件に関するお問い合わせ】
PhRMA 広報事務局 (MSL Japan 内)
担当: 池井 / 大澄 / 平田
Tel: 03-5719-8901 Fax: 03-5719-8919
E-mail: phrma@msljapan.com